

### パーマロイ電着型ワイヤメモリマトリックスとファインストライプメモリ

1963 年（昭和 38）に、銅線上にパーマロイを電着した素線を用いたワイヤメモリを開発した。従来、フェライト磁心を用いたメモリが利用されていたが、パーマロイなどの磁性薄膜を利用したメモリは高速で動作し、しかも小型・軽量という大きな特徴がある。さらに、69 年には真空蒸着技術、電着技術、微細加工技術を駆使して、極めて小型で高速作動するファインストライプメモリを開発した。これらの磁性薄膜技術は、のちの非晶質材料を用いた光磁気メモリへの応用につながった。

出典：KDD 社史